

## 第 20 回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事

1 日時 令和 5 年 3 月 28 日（火） 15 時 30 分から 17 時 00 分まで

2 場所 北広島市役所 4 階 会議室 4D～F

3 出席状況

No.	氏名	所属団体等
1	長 崎 和 恵	小料理なごみ（北広島商工会推薦）
2	仲 野 邦 廣	一般社団法人北海道きたひろ観光協会 事務局長
3	宮 崎 泰 一 (代理：古村 繁)	札幌北広島クラスセホテル プロジェクトマネージャー
4	湊 隆	ホクレン農業協同組合連合会 くるるの杜 所長
5	吉 田 和 彦	札幌国際大学観光学部 教授 座長
6	善 甫 啓 太	市民
7	三 浦 麻 衣	市民
8	橋 本 征 紀	北広島市経済部観光振興課 課長

(欠席)

No.	氏名	所属団体等
1	菊 田 英 傑	三井アウトレットパーク札幌北広島 所長
2	佐 藤 学	一般社団法人札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース支配人

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所 属	役 職	氏 名
経済部観光振興課	主 査	笠 井 衛
経済部観光振興課	主 任	山 本 梢
経済部観光振興課	地域おこし協力隊員	円 谷 翼

傍聴者 0 人

### 3 議事要録

#### 1) 開会

##### ○事務局

ただいまから「きたひろしま都市型観光推進協議会」を始めさせていただきます。本日は10人の構成員のうち8人が出席しており、構成員の過半数が出席しておりますことから、きたひろしま都市型観光推進協議会設置要綱第4条第3項の規定により、会議は成立していることを報告させていただきます。

本協議会の座長につきましては、昨年度の協議会より引き続き、札幌国際大学の吉田構成員を選出しておりますので、これ以降は、吉田座長により進行していただきたいと思います。よろしく申し上げます。

#### 2) 議事 「令和5年度の都市型観光推進事業の取組について」

##### ○座長

お手元にごさいます議事のとおり進めてまいります。

次第2「令和5年度の都市型観光推進事業の取組について」事務局から説明をお願いします。

(資料に基づいて説明)

#### 《委員意見》

- ・子どもへの観光教育について、高校生など子どもたちが関わる仕組みを作れるとよい。
- ・エルフィンパーク市民サービスコーナー内に観光案内所を開設しているので、そこで子どもたちが観光客を案内するようなことも検討できる。
- ・小学校や中学校では郷土を学ぶ授業があるので、そこを膨らませて観光を学ぶことで地域を知ることにもつなげられる。「私は北広島の出身です」と子どもがいえるようなものをつくっていけるとよい。
- ・Fビレッジは素晴らしいと思うが、そこを訪れる方を観光客と捉えていいのかどうか。観光客として来なくなるような、あるいは観光していこうかなと思ってもらえるような街にしていくことが重要。
- ・日本全国あるいは海外を含めて観光地といわれるところがあり、買い物や食事など様々な魅力があって人が集まる。Fビレッジだけではなく街全体を変えていくことが大切。
- ・Fビレッジに行けば、飲食や楽しみがあるけれども市街地でそういったものが手に入るような環境をつくっていかないと街が潤わない。
- ・Fビレッジができたからそれで観光都市になるのではなく、一番大切なのはここに暮らしている市民がこの街をどのように評価していくのかということ。
- ・Fビレッジはフックになるもの。野球を見にくる人も最初は野球を見るだけで帰ってしまうと思うが、どこかで北広島は面白いまちと感じてもらえるような仕組みづくりが必要。
- ・市ではレンタサイクルを行っているが、ただ自転車を貸し出すのではなく、まちの魅力を

伝えることも必要。まちが盛り上がっているときに印象付けていくことも大切。

- ・観光を考えるときには、自分たちの目線ではなくお客様の目線に立たなければならない。自分たちのアピールをするばかりではなくて、本来はどういう目線でこの街を見てくれているのかという視点が必要。
- ・観光は「食べる楽しみ」「買う楽しみ」「遊ぶ楽しみ」が重要。その魅力をどのように伝えるか。今あるものを活用していくことに加え、これだけ自然豊かなものがあるのでどうやったら観光客が喜んでくれるだろうかということ。
- ・冬はワンシーズンの地域なので、例えば、台湾やフィリピンの方にとってはすごく資源になるのでそれを活用したことも発信できれば海外から観光客が来てもらえる。目線を変えることで、活用の仕方も変わる。
- ・インバウンドのターゲットにしている国や地域から誘客するためには、まず旅行会社に来てもらい、食や観光を体験してもらい北広島市のファンになってもらう。SNS や写真では伝わらないこともあるので実際に来てもらうことが一番効果的。
- ・そのような機会を動画や記録に残して、表情も含めて皆さんに見てもらった方がきっと魅力や思いが伝えられる。
- ・修学旅行の誘致ではF ビレッジに来てそれ以外のものがない。北広島市にはエルフィンロードなど安全に走れるサイクリング環境が整っているが自転車の台数が限られている。
- ・冬のスポーツやイベントなど、目玉になるような魅力的なコンテンツを考える必要がある。他市では雪合戦や焼き肉まつりといったものがあるが、そうしたイベントにはわざわざ遠くからでも人がくる。目玉イベントを作っていくことが必要。
- ・よそ者の意見を広く聞くことも面白い。外の人から見た「北広島市にこれがあったら遊びに行く」というような部分を広く募ってみる。
- ・観光基本計画では新しい考え方を取り入れているが、PDCA と一緒だが PDCA を回し続けるためには、高い目標を設定しないと回し続けられないという結果になる。北広島の実力以上の目標を掲げたほうが良い。

### 3) 意見交換

#### ○座長

それでは、次第3の意見交換に移ります。

最近の現状や令和5年度の取組など、お話しいただければと思います。

#### 《委員意見》

- ・海外に遊びに行った際にバスの案内が分かりやすかったが、北広島に帰ってきてバスに乗ったら外国の方には分からないだろうと感じた。海外からの観光客も増えていくので設備や対応を整えていくことが重要。
- ・観光業は従業員の確保が課題となっている。子どもへの観光教育ではないが地元のホテルに就職していただけるような教育があると観光都市として栄えていく。
- ・F ビレッジが開業して間もないが観光客の流れも出てきたが駅前の状況に大きな変化はない。ゲームを楽しんでそのまま帰ってしまう方が多い。それが観光につながっているかと言

ったらつながっていないと感じる。

- ・道内のある都市では、Wi-Fi や多言語表示、事業者の対応などインバウンドに向けた環境整備が進んでおらず、そこを改善するため予算を取りながら進めてきた状況を聞いたことがあり、北広島市でもそうした課題をクリアしていかないと海外からの観光客が不満を抱えて帰ることになる。

#### 4) その他

○座長

それでは次第4に移ります。

皆さんから何かございますか。特になければ事務局からお願いいたします。

(事務局から令和5年度の協議会の日程について説明)

#### 5) 閉会

○座長

その他、特になければ、以上をもちまして閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。